

担い手育成特定資産事業 活用事例紹介 (株)スリーピークス (大船渡市)

取材担当 大船渡農業改良普及センター 佐藤 喬

“やさしくなれるひとときを！”

これが今回紹介する(株)スリーピークスさんのコンセプトです。

三陸海岸の一角である大船渡市で湾を一望できる場所にワイナリーを構え、自社の果樹園でぶどうとりんごを栽培し、これを原料にワインやシードルを製造・販売する“海街ワイナリー”です。

創業は2013年で、市内や陸前高田市に農地を借りて苗を植え、将来は同じリアス式海岸を有するスペイン・ガリシア地方やオーストラリアハンターバレーに匹敵するワイン産地を目指しています。

また、一般からの委託醸造や、担い手育成特定資産事業のうち「就農促進実践研修支援事業」を活用し、新規就農予定者の就農前の現地実習（研修）も受け入れています。

現在1名の研修生がぶどう棚の作り方や苗木の定植、栽培管理や農薬散布など一連の栽培法を学び、更にはワインやシードルの製造工程も実地で研修し就農に備えています。

忙しい現代人の毎日、ワインやシードルで果実本来の自然の味わいや香りを楽しみ、1日1回は“やさしくなれるひととき”を感じたいものです。



(株)スリーピークス・醸造所



防除作業中の研修生